

天塩町で見られる鳥

【森林】

アオジ



体長15.5cm。森林に生息。胸のあたりが黒ずんだ黄色。

ベニマシコ



体長15cm。草原や疎林に生息。雄は全身が赤いのが特徴。

ヒバリ



全長17cm。平地の海岸草原や河川敷などに生息。草原で賑やかに鳴き、上空で一瞬懸命羽ばたいてもさほど前に進まない。

【草原】



コホオアカ



体長13cm。日本海側の島などでまれに見られる旅鳥。「30年以上、鳥の観察をしています。初めて見ました(撮影者談)」

(撮影) 留萌振興局森林室 天塩事務所 蔵中所長

ビタキ



体長13cm。海岸草原や河川敷に生息。雄は黒と白を基調として、のどが赤く、ジジッ、ジジッと鳴く。

オオジュリン



体長16cm。水辺の草原に生息。くちばしの根元から左右に1本ずつ下向きに白い筋がある。

アカゲラ



体長24cm。平地から山地の森林に生息。道内で一番よく見られるキツツキ。

ノゴマ



体長16cm。海岸草原や河川敷に生息。のどの赤が印象的。

カワラヒワ



体長14cm。海岸から高山までの様々な環境に生息。カラコロカラコロと鳴き、羽ばたくと羽の一部の黄色が目立つ。

ハクセキレイ



体長21cm。市街地や河川など開けたところに生息。ピピッ、ピピッと鳴きながら、上下に波形に飛ぶ。市街地にも営巣する。

オオバン



体長39cm。河川、湖沼に生息。くちばしから鼻にかけて白いのがオオバン、赤いのがバン。

オジロワシ



体長 雄83cm、雌92cm。海岸や大きな河川に生息。天然記念物であり、希少野生動物。オオワシと並んで止まっていることも多い。どちらも尾は白いが、全体的な色彩はオオワシより地味な感じ。

ハシボソガラス



体長50cm。市街地、海岸などに生息。頭からくちばしにかけて平らに近いのがハシボソガラス。ハシブトガラスはヘルメットをかぶっているような外観。

オオセグロカモメ



体長64cm。海岸や河川下流部に生息。脚はピンク。くちばしの先に赤い点がある。カモらしい鳴き声。止まっていると尾が黒く見えるが、黒いのは翼の先で、羽ばたくと尾が白いのわかる。

ウミネコ



体長46cm。海岸や河川下流域に生息。脚は黄色。くちばしの先は赤と黒が混ざる。海猫だけにニャーニャー鳴く。

カワウ



体長82cm。海岸や内陸の水域に渡来する夏鳥。巣は樹上に作り、集団で繁殖する。くちばしの付け根の白い部分が狭いのがカワウで、広いのがウミウ。

スズメ



体長14cm。市街地に生息。近年個体数が減少しているといわれている。

ムクドリ



体長24cm。市街地、河畔林などに生息。飛んでいる姿は紙飛行機のような？

【市街地】



【水辺】



※参考文献 「北海道 野鳥図鑑」 (株)垂璃西社 発行